JALと旧社保庁 不当解雇の撤回を

愛媛争議団を支える会宣伝

JAL（日本航空）不当解雇とたたかう愛媛争議団を支える会の重見幸春事務局長、JAL被解雇者労働組合（JHU）の林惠美氏と大池ひとみ氏、全厚生不当解雇撤回四国闘争団の児島文彦団長らは20日朝、「JALと旧社保庁の不当解雇を撤回せよ」と、松山市の愛媛県庁前で宣伝しました。

重見事務局長は「愛媛のJAL争議団2人は13年にわたって粘り強く、働く者の生活や権利、安全や平和のために連帯を広げ、活動を続けている」として、一日も早い不当解雇撤回へ支援と協力を呼びかけました。

大池氏は、そごう・西武労働組合が大手百貨店では61年ぶりにストライキをした行動に、とても温かい声や応援が広がったと述べ、「一緒に世の中を変えていきましょう。絶対にJALに戻る」と思いを訴えました。

児島団長は「私たちも『安心・信頼のできる年金をつくっていこう。日本の社会から不当な解雇をなくそう』と、JALの仲間たちと手を携えてたたかっている」と述べ、支援と理解を訴えました。

愛媛県庁前で不当解雇撤回への支援を呼びかける（左から）大池、児島、林の各氏＝20日、松山市

2023年9月23日付　赤旗西日本